

# モノ、ヒト シゴト

TOYOKAWA PRODUCE

豊川市が誇るモノづくりと、それに携わるヒト  
を紹介します。

## 伝統技術を未来のために

VOL.  
10

ティビーアール株式会社  
環境事業部・木下 稔久さん

### 「組みひも」が持つ可能性

糸を編み込んで作る日本  
古来から伝わる組みひも  
の技術。ティビーアール  
は、組みひもの持つ機能性  
に着目し、漁業・農業・環  
境など幅広い分野で製品を  
開発・製造している。「組  
みひもは、糸をよって作る  
ロープより耐久性が高く、  
強度もある。糸の素材や組  
み方など、用途に合わせて  
応用をすれば無限の可能性  
がある」と木下さんは話す。

### 漁業から環境の分野へ

創業当初は、漁網などの  
漁業用製品を中心に製造し  
てきた。中でも漁師の声を  
ヒントに開発したホタテ養  
殖用の組みひもは、規則的  
な編み方を生かし貝を均一  
な大きさに育てられる画期  
的な製品として、開発から  
40年近く経つ今も国内で広  
く使用されている。

しかし、漁業が衰退する  
中、平成に入るとともに他  
分野での製品開発が必要と  
なった。そうした中、国が  
進める河川の水質浄化プロ  
ジェクトに参加し、組みひ

もによる水質浄化システム  
を開発。水の浄化に微生物  
を利用するため、組みひも  
からループ状の糸を無数に  
引き出して表面積を大きく  
し、より多くの微生物が付  
着できる構造を考案した。  
高い処理能力と扱いやすさ  
から、全国300カ所以  
上の河川で導入された。

国内の水質浄化が進む  
と、次に目を付けたのは海  
外、中国だった。日本での  
実績と品質の高さから、特  
に水の汚染が著しい大都市  
上海エリアで採用された。  
「以前は蛇口から黄色い水  
が出ていたが、導入後10年  
を経過した現在では透明に  
なり、市民の生活環境の改  
善に貢献できた」と語る。

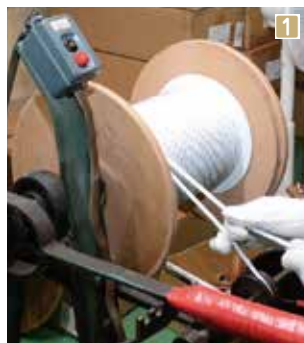
### 伝統がつなぐ未来

温暖化などの影響で水産  
資源が減少している昨今、  
「開発の視点は、以前の獲  
る漁業から、守る漁業に移  
行してきている」と、現在  
は再び国内の水産業に目を  
向けている。組みひもの持  
つ無限の可能性を信じて、  
より良い未来のためにさら  
なる探求が続く。

### ティビーアール株式会社

小田渕町4-63

1960年創業。開発から販  
売までを一貫して行う組み  
ひも製造メーカー。組みひ  
もの技術を活用した製品が  
漁業・農業・環境など多分野  
で利用され、国内外で事業  
を展開している



1 出荷用に組みひもをポビンに巻く。機械で生産する製品も最後は人の  
手で丁寧に出荷作業を行う 2 ペット用リードなど身近に使われる組みひも  
3 現在インドネシアで進められている河川浄化システムの設置作業